

# 特定非営利活動法人大阪マスタース陸上競技連盟

## 第 31 回理事会議事概要

- 招集年月日 2020 年（平成 2 年）2 月 18 日（日）
  - 開催日時 2020 年（平成 2 年）3 月 07 日（火）10：10～12：10
  - 開催場所 長居ユースホステル 会議室 1  
大阪市東住吉区长居公園 1-1（長居スタジアム内） TEL 06-6699-5631
  - 理事総数 23 人
  - 出席理事 20 人（本人出席 16 人、議決権行使者 4 人） 出席監事 1 人
- 会 長 椎木 茂久  
副 会 長 赤峰フミコ、山中 保博  
専務理事 池上 健三  
常務理事 安達 芳恵、井指 康裕、小西 宏之、坂下 勝正、柴田 秀治、並川 耕士、  
深尾 真美、藤田 幸久、村井 正信  
理 事 宇野 初男、大倉 節子、数野 哲也、神谷 亨市、津田 光央、鶴川 久壽、  
早川 禎一、松島 忠士、三宅 要、森井 正和  
監 事 中澤 武、中島 静一
- (注) 下線は議決権行使者。斜体字は欠席者。

### ■議案の経過要領および議案別議決の結果

#### 第 1 号議案 常務理事会と理事会の運営について

池上専務理事から、常務理事会の機能および総会、理事会、専門委員会との関連を含めた常務理事会の基本的な運営方針について提案説明がなされた。

これらの提案・説明を受けて議長が賛否を諮ったところ全員異議なく承認、可決された。

#### 第 2 号議案 専門委員会組織の運営について

池上専務理事から、専門委員会を①日常活動の中心に位置付け、②委員長、副委員長、部長が実質的に運営する組織として運営し、委員は、理事以外に会員や一般の方が参加できる組織とするとの説明がなされた。次いで、総務委員会と競技委員会に関する業務内容の内訳書の説明があり、現実的に対応できる項目から展開して行くとの基本的な考え方が示された。

また、専門委員の活動費については、定款および規程により無報酬であるが、活動に伴う実費は補てんすることになっているので、次のとおり対応するとの考え方が示された。

##### <交通費>

・理事委員；現行の理事会と同じく 1 回につき交通費相当額として 1,000 円を支給する。理事会の金額が改定されたときは、それに準拠するものとする。

・理事以外の委員；審判手当の準用（3,000 円）を検討する。

##### <その他の活動費>

・委員会活動に伴って必要となる備品等の購入や会議室の借用等の必要経費については、実費支給とする。

・大阪府域外への出張等については、交通費実費を支給する。詳細は別途定める。

・ただし、競技会等の運営に伴うソフト作成等の費用については、事業費として各競技会予算から別途支給する。

これを受けて、議長が意見・要望等を募ったところ、出席理事から次の（>1.～6.）のような意見・要望が出された。

>1. 事務局での事務が、従前より増加しているが、事務局員を入れて対応する考えはないのか。

事務局時代は、自宅の1室を事務所に提供し、月額25,000円の事務局費の支給（電話・インターネット使用料は実費）を受けていた。大阪実業団の陸上では、月・水・金の午後にスタッフを雇用している例があるので、早急に事務局員を置くことを検討して欲しい。これに対し、池上専務理事から、事務局の移転を検討しているので新事務所が決まれば、それに合わせて事務局スタッフの検討をしたい。新事務所は、駅に近いところで探しておりになれば、皆さんが容易に来られることが可能になる。地下鉄長居駅交差点の北西角の坂下ハウス興産のビルに空きがあり、保証金60万円、解約引き40万円（契約時先払い）で月額賃料5～5.5万円程度の条件であるが、契約時に一時金100万円の負担があるため、躊躇している。昭和町～我孫子の地下鉄駅近辺ということで再度物件を探しているとの説明があった。

- 2. 長居駅近辺で徒歩5分圏内が望ましい。
- 3. 駅から近いところで、10人前後の役員等が会議可能なスペースが確保出来るなら、思い切った初期投資をしても良いのではないかと。積立金を当てても良いのでは。
- 4. 初期投資に必要なならクラウドファンディングなどの方法で、事務所移転に必要な寄付金を募る方法もあるので検討してはどうか。
- 5. 積立金は、大阪で開催した全日本マスターズ選手権の剰余金。その剰余金300万円にその後100万円を積み増したものの。

これらの意見・要望に対し、池上専務理事から、積立金は400万円定期預金としてあるが、特別勘定として一般会計と分けた特別会計にしているわけではないので、定期預金の取り崩しは総会の決議は不要で、理事会の決議で可能であるとの説明がなされ、議案第4号の確認事項で最終的な確認をしたいとの説明があった。

- 6. 「競技会等の運営に伴うソフト作成等の費用については、事業費として各競技会予算から別途支給する。」とあるが、具体的に明記してあるのか。

これについて、池上専務理事から、事業に必要な経費として計上しているもので、該当する項目については、その範囲で対応することとする。ちなみにソフト作成費用は1競技会で8,000円を見込んでいたとの説明があった。（注）2020年度予算編成に際しては、複数の人が分担して作成することを前提にしている。

これらの論議を受けて、議長が、専門委員会組織の運営についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

### 第3号議案 2020年度の理事の担当業務について

#### 1. 専門委員会について

池上専務理事から、専門委員会の理事委員の担当と、当面、委員会業務としてスタートさせる項目について説明があったあと、次の提案がなされた。

専門委員会の委員は、「当法人の理事、会員および有識者等の中から、会長または専務理事が推薦し、理事会の決議を経て会長が委嘱する。」となっているが、専門委員会の立ち上げに際して次にとおり対応する。

- (1) 当面、専門委員会の委員としての会員および有識者の選考については、常務理事会で決議することとし、結果を理事会に報告し承認を得ることで運用する。
- (2) 理事委員については、会長推薦により理事全員が委員に就任することとし、互選で選ぶ委員長、副委員長および部会長についても、本理事会で次のとおり決議することとする。  
理事委員……会長、専務理事を除く理事全員（副会長、常務理事を含む）  
総務委員会 委員長：安達芳恵 副委員長：深尾真美  
競技委員会 委員長：村井正信 副委員長：井指康裕  
競技部長：柴田秀治 記録・情報処理部長：小西宏之

これを受けて、議長が、専門委員会の委員等の取り扱い等についての賛否を諮ったところ、全員

異議なく承認、可決された。

## 2. 競技会等の担当について

池上専務理事から、2020年度事業計画に基づく競技会および研修会の運営について、主任、副主任および担当とそれぞれの日程についての提案説明がなされた。また、個別の担当項目について、それぞれの担当者を事務局で割り振り、各理事にフィードバックする中で最終調整するとの説明がなされた。

これに対し、山中副会長から各競技会の担当者は、プロ編会議で都合が悪く欠席する場合、本人が交代できる人と調整することを徹底するようにして欲しいとの提案があった。

これを受けて、議長が、競技会等の担当についての賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

## 第4号議案 その他確認事項

### 1. 第22回近畿マスターズ研修会

池上専務理事から、研修会当日の出席の可否について、出席理事に対して確認した結果は次のとおり。その他理事については、往復はがき出状して確認中。

(注) 集合時間、日程については別途連絡

出席；井指康裕、柴田秀治、三宅要、深尾真美、並川耕士

椎木茂久、山中保博、坂下勝正、松島忠士、池上健三、安達芳恵、村井正信、津田光央  
欠席；藤田幸久、大倉節子、小西宏之

### 2. 第12回南部忠平杯

学連審判講習会を実施するので、大阪陸協・定木審判部長等と調整中であり、村井常務理事から「審判講習会の講師は75歳未満の審判員が主任、副主任として陸協から派遣されてくるため、これまでの審判編成と異なり最終決定は陸協になる。また、これまで75歳以上の方で、主任をお願いしていた方は役職が外れ担当審判員としてお願いする」ことになるとの説明がなされた。これについて、山中副会長から、今後、75歳以上の審判員はマスターズではない、との誤ったメッセージが広がらないような配慮が必要との意見が出された。

これに対し、村井常務理事から、該当される方については個別に連絡をして理解を求めるとともに今後の協力を要請していくこととしたいとの説明がなされた。

### 3. 第34回大阪マスターズ選手権大会

朝日新聞に後援依頼を行う。…期日未定

### 4. 第26回近畿マスターズ駅伝

大会開催中止を確認。

参加料(エントリー料) 21チーム；94,000円は返金なし。

### 5. 2020年度の会員登録状況(3月3日現在入金確認)

普通会員

登録者数 474人 陸協登録者 448人(登録割合；94.5%)

### 6. 2020年度大阪マスターズ競技会要項について

3月3日発送

大阪マスターズ会員以外は1冊300円(送料込み)で販売…ホームページ掲載

### 7. 2020年度会報と40周年記念誌について

4月発行で準備中

8. 40周年記念ユニフォームについて

柴田秀治常務理事から、記念ユニフォームデザイン案について、国体用の大阪チームのデザインを基本に大阪マスターズのイメージカラーの黄色を考慮することで、大阪陸協に照会したところ問題はないとの回答があったので、提示案で進めていきたいとの説明がなされた。

池上専務理事から片山スポーツを経由しての発注も含めて、デザイン、発注先等について柴田常務理事に一任したいとの提案がなされた。

9. 事務所移転の検討について

池上専務理事から第2号議案での論議内容を踏まえて、新事務所の物件選択については、会長および専務理事に一任してほしいとの要請がなされた。

10. 第1回常務理事会報告

2月26日(水) 18:30~20:30 阿倍野市民学習センター第1会議室

出席状況 出席(10人); 椎木、池上、安達、井指、小西、坂下、柴田、深尾、藤田、村井  
欠席:(1人) 並川

議題 常務理事会と理事会の運営について ほか

11. 常務理事会への委託事項

次の事項について、理事会から常務理事会への委託事項とする。

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止に関わる競技会等中止の判断

大阪陸協の第1回記録会は、中止と決定された(第2回記録会は3月5日の時点では開催予定)が、今後の情勢を勘案する中で、中止の可否や申込期間延長等の措置の決定について、迅速な判断が求められるため、その判断を常務理事会に一任する。

(2) 専門委員会立ち上げに際して当面、会員および有識者の一般委員委嘱については、常務理事会で決議し、直近の理事会に報告し、最終的な決議を得ることができるものとする。

議案第4号の確認事項について、議長が賛否を諮ったところ、全員異議なく承認、可決された。

以上